

みやこはし 京の橋しるべ 第17号

(令和2年3月発行)

◆ 京都市電の名残を持つ橋りょうについて

かつて京都市内には京都市電（以下「市電」という。）が走っていました。そこで、今回は、市電にスポットを当てて橋りょうを紹介していきます。

◆ 京都市電とは

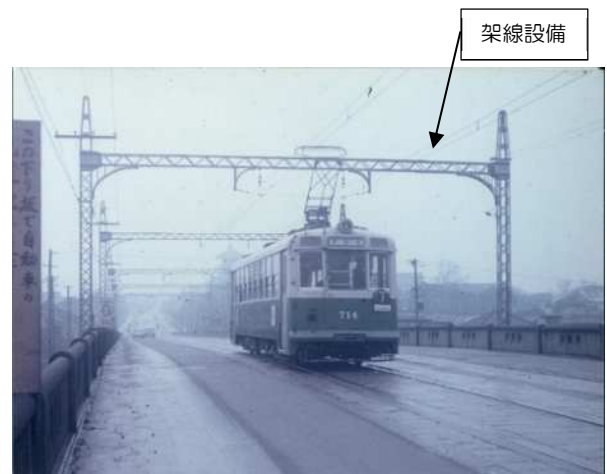
市電は、日本発の市街路面電車として明治28年から昭和53年まで走っており、大正中期から昭和初期まで路面電車は市内の主たる交通機関として発展しました。しかし、競合する京都市営バス等が増加したことや、自動車が多く走り始めたこと等により、83年の歴史に幕を閉じ、全線の廃止となりました。

参考文献：さよなら京都市電（京都市交通局）

◆ 大宮跨線橋について

大宮跨線橋は、大宮通にあるJR東海道本線等を跨ぐ橋りょうで昭和10年に架けられ、昭和10年から昭和47年まで市電大宮線が走っていました。

廃止から50年近くたった今も電線等を設置するための架線設備が残っており、かつての面影が残っています。なお、最近まで市電の停留所へアクセスするための階段が設置されていましたが、老朽化が著しいことから今年度の補修工事にて撤去しました。



かつての大宮跨線橋

中村家所蔵、立命館大学アート・リサーチセンター提供 (nkmr_207)



撤去前の懐かしい階段



現在の架線設備

◆ 北野橋について

北野橋は、今出川通にある紙屋川に架かる橋りょうで昭和 10 年に架けられ、昭和 33 年から昭和 51 年まで市電今出川線が走っていました。

北野橋の舗装の下から、コンクリート製の軌道敷の一部が発見されました。外観から市電を感じさせない橋にも市電の名残は存在しています。



現在の北野橋



発見された軌道敷の一部

◆ 稲荷橋について

稲荷橋は伏見区深草一ノ坪町にある琵琶湖疏水に架かる橋りょうで昭和 36 年に架けられ、明治 37 年から昭和 45 年まで市電稲荷線が走っていました。

稲荷橋は当時、橋上に停留所があり、道路部分と市電部分に分けて利用されていた珍しい橋りょうです。

今年度、道路部分で老朽化に伴う補修工事を行い、市電部分では公園の再整備を行いました。その際に、市電の軌道敷を一部残したまま公園の整備を行っており、稲荷橋にある稲荷公園では今でも市電の名残を感じることができます。



かつての稲荷橋（稲荷停留所）

中村家所蔵、立命館大学アート・リサーチセンター提供 (nkmr_249)



軌道敷跡

整備された稲荷公園と軌道

◆ 橋りょうの魅了発見！

かつて、市電が走っていた橋りょうには今でも市電の名残が存在します。市電の名残を探しに、橋りょうを訪れてみてはいかがでしょうか。きっと新たな橋りょうの魅力を発見することができるでしょう。

〈京の橋の紹介⑩〉

新橋（しんはし）

場 所：京都市東山区元吉町
 河 川 名：一級河川 白川
 橋の種類：鉄筋コンクリート床版橋
 橋 長：11.8m
 幅 員：9.7m
 完 成 年：昭和33年（1958年）



新橋は、新橋通、白川南通、切り通し沿いに伝統的建築物が建ち並んだ重要伝統的建造物群保存地区※（地区名：京都市祇園新橋）にあり、昨年度に高欄を更新した巽橋と共に、同地区の趣を形成していると言えます。

コンクリートや鋼材を用いた橋りょうが一般的ではなかった時代の橋りょうの多くは木製でした。昭和33年に架替えた際や平成10年に高欄を更新した際、高欄の材質にコンクリートや鋼材を用いず、木材を使用したことで、新橋には今でも木橋の名残である木製の高欄を残しています。

今年度（令和元年度）、約20年ぶりの高欄の更新を行った際も、これまでと同様に木製の高欄としました。

近くにお立ち寄りの際は、高欄のすべての部材にみよこ杉木（市内産木材）を使用し、新たに生まれ変わった新橋と祇園の街並みをお楽しみ下さい。

※文化財保護法の規定により、歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いもの等を保存するために市町村が定めた地区のうち、特に価値が高いものとして国（文部科学大臣）が選定したものです。



重要伝統的建造物群保存地区



◆ 京の橋しるべについて

私たち建設局橋りょう健全推進課では、市民の皆様の安心・安全な生活を守るため、京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため、また、私たちの日常生活を支えるかけがえない「橋」について関心を持ってもらい、身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ（みよこのはししるべ）」というリーフレットを定期的に発行し、市民の皆様に「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は、道路に目的地までの距離や方向を示し、道案内のために設置されたものですが、「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして（案内して）いきたいということで名付けました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課 (TEL 075-222-3561)



京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「京の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投稿するアプリ「みっけ隊」を配信しています。

詳しくは Web で！ [京の橋しるべ](#)

検索



& [みっけ隊 募集中](#)

検索

